

授業科目

ボランティア実習

【担当教員名】 荒井富佐子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択・選択・選択・必修・選択
	単位数	1	時間数	30

【概要】
「ボランティア論」で学んだボランティアの意義を理解し、医療・福祉施設または地域社会においてボランティア活動を行い、将来、社会人として、また専門職及びその他の職に就く上で求められる豊かな人間性の向上をめざす。
また、ボランティア活動の実践をととして、多くの社会的問題に気づき、新しい共同体社会を創造する力を養う。

【学習目標】

1. ボランティアの意義を理解し、機会をみつけて積極的にボランティア活動に参加できるようになる。
2. ボランティア活動に参加することによって自分自身の向上を図るとともに、さらに専門性の高い医療・福祉関係の業務に携わる上で求められる人間性豊かな資質を身につける。
3. 本来”人”に備わっているやさしさ、思いやりの精神をもって”人との触れ合い”を広く体験することにより、コミュニケーションの学習及びQOLの実践をはかる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	(1) はじめに ボランティア実習に関するオリエンテーション 5月中旬の予定		講義
2~14	(2) ボランティア活動 1) 実施期間：4月～9月 2) 実施時間：30時間 但し、1ヵ所または2～3ヵ所に分けて実施してもよい 3) 活動先の選択： 医療・福祉関係施設または地域社会その他ボランティアを必要とするところを学生自身が選択し、自主的にすすめる。		実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	「わかる・みつかる・できる学生のためのボランティアガイド」	(財)内外学生センター	(財)内外学生センター	800円
その他の資料				

【評価方法】 ボランティア実習のレポートと「ボランティア実習実施確認書」の提出により単位を認定する。	【履修上の留意点】 各学科の専門性を生かしたボランティア活動が望ましい。また、ボランティア実習依頼や実習中は、学生として、社会人としてのマナーを守ること。
---	--